

生徒指導だより「こころ」

平成28年11月17日(木)
NO. 13 文責 堀 晴昭

衣替えで感謝の心を育てる

本校でも10月を移行期間、そして11月から完全冬服と衣替えを行ってまいりました。この衣替えの歴史は古く、中国の習慣を日本に取り入れたのは平安時代のことです。やがて、貴族から庶民へとその風習が広がりました。

衣替えを単に「衣服を改める」日だけでなく、私たちの体を、寒風や灼熱の太陽から守ってくれた、衣服に感謝する機会にしたいものです。ダンスなどになおしたり、処分したりするとき「今までありがとう」と一言を添えると衣服を大切に扱う心が養われます。それが、制服を清潔に保つ、破れやほつれを未然に防ぐ、すぐに修繕するなどの形となってその心は表れます。



チーム力

団体種目の部活動に所属している1, 2年生や所属していた3年生は「チーム力」の大切さは分かると思います。みんなで力を合わせると大きな力となり、よい結果につながります。これは部活動に限ったことではなく、学校生活や学習も「チーム力」だと思えます。受験が迫ってきている3年生は「受験は団体戦だ」という言葉を聞いたことがあると思います。勉強はとてもきついです。自分がくじけそうになったとき、周りの友だちのがんばりから自分もがんばらねばと思ったり、分からないことを教えたり、教えてもらったりしながら互いに力を伸ばしたりとチームとしての力がとても大切です。



さて、この「チーム力」の視点から学校生活を見て一番寂しいのが遅刻や欠席です。朝からクラスの中にいくつかの空席があります。これは全学年で見られます。「今日も一日みんなでがんばろう。」という雰囲気がつくりにくいです。「あの人はあの人」という考え方で片付けるのはいささか寂しいものがあります。きつい健康状態やいろいろな悩みを抱えて登校している生徒はたくさんいます。がんばってほしいです。

点滴石を穿つ(てんてきいしをうがつ)

やる気を持って何かを始めても長続きしない人もいるかと思えます。また、何か大きなことにチャレンジしようと思っても「失敗したらどうしよう。」と考えてしまい、臆病になることもあるかと思えます。「失敗してもいいんだよ。失敗からいろんなことを学び、成長するんだよ。」と話をしたところで、人は誰だって失敗はしたくないものです。大切なことはチャレンジを続けた先にあることを理解することです。

「点滴石を穿つ」ということわざがあります。「軒下(のきした)から落ちるわずかな雨垂れでも、長い間同じところに落ち続けられれば、堅い石に穴をあけてしまう。」という意味です。一流と呼ばれるいろんなジャンルの人も、みんなはじめから素晴らしかったわけではありません。何度つまづいてもあきらめずに継続したからこそ成功に結びついたのです。みなさんもコツコツと積み重ねるような生活をしてください。

いじめアンケート

先日、全校生徒対象に校内いじめアンケートをとりました。1件だけ「いじめを見た。」というものがありましたが、「今は続いていない。」ということでした。結果や聞き取り調査をしながら少しほっとしていますが、そもそもいじめは教師や親など大人がいるところではしません。だからとても発見が難しいです。よってこういうアンケートを実施したり、担任は毎日「あしあと」という日記に目を通したり、学期に1回ずつ教育相談をしたりしながら現状の把握に努めています。(現在2学期の教育相談を実施中です。)上記のこと以外にも生徒指導部では昼休みの校内巡回指導や登下校指導を毎日行い、生徒の様子や表情を観察しているところです。ご家庭でも何か気になることがありましたら遠慮なく学校にご相談ください。ちなみに、12月には県からの「いじめアンケート」も実施します。何かあったらすぐ対応していきます。

連絡

- この山鹿市内に「さる出没」の知らせが何度か学校にもきています。生徒にも注意を促していますが、野生のさるは凶暴で危険です。ご注意ください。
- つい最近、命に関わるような事故が起きています。お知らせしますので、ご家庭でも注意・指導をよろしくお願いいたします。

《事故の概要》

先日の日曜日に愛隣の家の前にある用水路(縦5m, 横10mぐらいの広さで道路に面し、道路から2mぐらい下に水がたまっているところ)で本校の中学生と三岳小学校の小学生で魚釣りをしていたそうです。中学生も以前その用水路に落ちた経験があり、小学生に「気をつけろよ。」と注意もしていたそうです。そのときです。この小学生がなんとこの用水路に転落。深さが2m弱あり、足はつきません。おぼれかかっているところ、たまたま愛隣の家の方の職員の方が気づかれ、飛び込んで助けられたそうです。

現場を校長・教頭・私で見に行きましたが、壁面にはコケがついており、つかまるところなどもなく、とても危険だと感じました。ここだけではなく、魚釣りにいろんな場所に生徒は行くと思います。生徒においては必ず複数で行くこと。できれば大人もそばにいていただくとうれしいです。ちなみに今回の事故の対策としては、本校校長と三岳小学校の校長が市役所に子どもが落ちないような措置をしてもらうよう相談に行きました。

